

店舗のご案内

No.	店舗名	郵便番号	所在地	電話番号
①	本店	〒324-0056	大田原市中央1丁目10番5号	0287-22-3130
②	黒磯支店	〒325-0061	那須塩原市末広町53番地107	0287-62-0678
③	西那須野支店	〒329-2727	那須塩原市永田町5番1号	0287-36-1255
④	黒田原支店	〒329-3222	那須郡那須町大字寺子丙2番地73	0287-72-1131
⑤	野崎支店	〒324-0035	大田原市薄葉2287番地9	0287-29-1221
⑥	東那須野支店	〒329-3153	那須塩原市大原間378番地1	0287-65-2031
⑦	美原支店	〒324-0047	大田原市美原1丁目6番14号	0287-22-3800
⑧	南支店	〒324-0053	大田原市元町1丁目7番10号	0287-23-7650
⑨	矢板支店	〒329-2142	矢板市木幡1369番地9	0287-43-4646

店外CD設置場所

ベシア大田原店共同出張所	ヨークベニマル黒磯店共同出張所
東武宇都宮百貨店大田原店共同出張所	ヨークベニマル那須塩原店共同出張所
スワストア西那須野南店共同出張所	ベシア矢板店共同出張所
ヨークベニマル西那須野店共同出張所	栃木県信用金庫協会県庁内出張所

Ohtawara Shinkin Bank

Disclosure 2011.9

ディスクロージャー誌

同じ夢と未来に向かって歩む信用金庫でありたい「With your smile」

 大田原信用金庫

〒324-0056 栃木県大田原市中央1-10-5
TEL:0287-24-2266 FAX:0287-22-5102
<http://www.ohtawara-shinkin.co.jp/>

地元の皆さまとともに
大田原信用金庫

ごあいさつ

平素より格別なご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
 ます。

この冊子は、当金庫の平成23年度上期業績や活動状況などを取りまとめたものでございます。ご高覧いただき、当金庫へのご理解を深めていただければ幸いです。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



平成23年11月
 理事長 村田 稔

金庫概要 (平成23年9月30日現在)

名 称	大田原信用金庫
本店所在地	大田原市中央一丁目10番5号
設 立	昭和3年2月
出 資 金	470百万円
役 職 員 数	145名
事 業 所 数	9店舗

経営理念

1. 地域社会繁栄の奉仕と共に信頼と協力に応える
2. 中小企業の健全な育成発展に貢献する
3. 公共性、信頼性、収益性を基本に健全経営に努力する

第3次中期経営計画

《だいしん With your smile 2011》

～お客さまとのよりよい信頼関係を発展させる3ヵ年～
 (平成23年4月から平成26年3月までの3ヵ年)

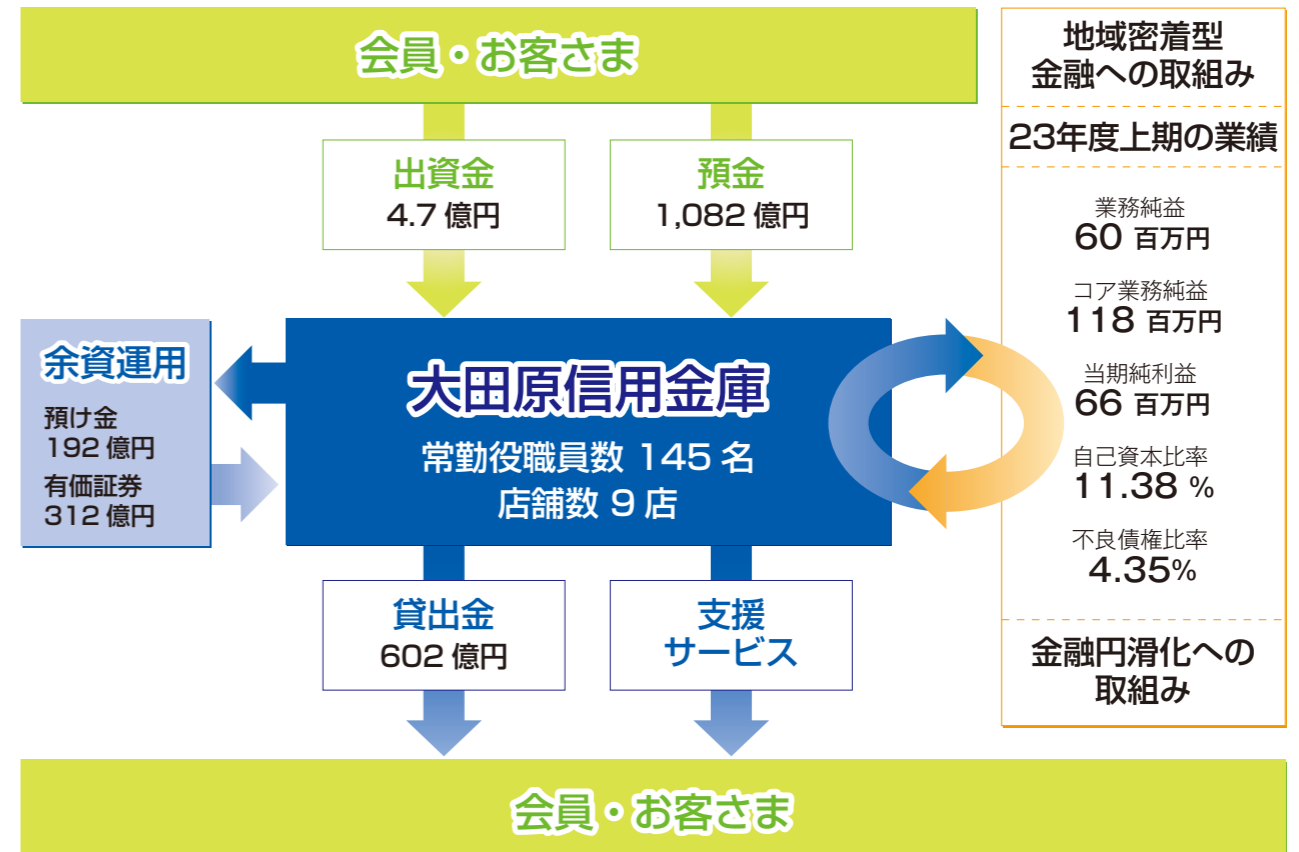
目指す姿 地域密着型金融を着実に進め、お客さまとのよりよい信頼関係を築き、地域に根ざす金融機関として、一層の経営基盤の強化を目指します。

基本戦略

- I. 地域の金融仲介機能の一層の発揮に努め、地元の皆さまの事業や生活の繁栄を通して地域経済への貢献を目指します。
- II. 収益性と健全性を高め、お客さまにご安心いただける信頼性の高い金融機関を目指します。
- III. 地域に合った金融ニーズを的確に捉え、質の高いサービスが提供できる人材の育成を目指します。

大田原信用金庫と地域社会とのかかわり

だいしんは 相互扶助型の金融機関	地域の資金を地域に還流	地域経済の 持続的発展に向けて
当金庫は栃木県北部地域を主な事業区域とし、会員（地域の中小企業や住民）がお互いに助け合い、ともに発展していくことを理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。	地域のお客さまからお預かりした大切な資金（預金等）は、資金を必要とされる地域のお客さまに融資を行い、事業や生活の繁栄のお手伝いをさせていただいております。	地域との強い絆やネットワークを形成し地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



地域との歩み

月	日	出来事	月	日	出来事
4月	1日	終身保険「MS終身α」、[WAYS]の取扱開始	7月	11日	「だいしん災害復興支援定期積金」の取扱開始
	11日	「エコ住宅ローン」の取扱開始		12日	「だいしん経営塾」例会
5月	9日	「マイホーム応援キャンペーン」の実施		28日	「信樹会」総会
	23日	「だいしん経営塾」例会		30日	「西那須野ふれあいまつり」参加
6月	1日	定期預金「サマーキャンペーン」の実施		31日	児童向け夏休み学習教室を開催 (牛乳パックでの「小物入れ」づくり)
	7日	経営報告会(一区)	9月	5日	日本政策金融公庫農林水産事業と 「業務協力に関する覚書」を締結
	9日	経営報告会(二区)		13日	「だいしん経営塾」例会
	10日	経営報告会(三区)			
	25日	第83期通常総代会			

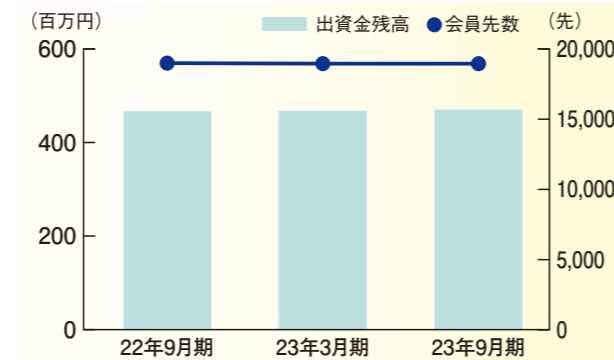


このシンボルマークは大田原信用金庫の頭文字<O>と信用金庫の頭文字<S>を組み合わせてデザイン化したもので、宇宙空間的な円の構成で表現しております。
 大きな円は大田原の<O>、大きな円の中に浮かぶ小さな円は信用金庫の<S>を含む天体で、この<S>には、お客さまのサクセス(成功)と私達のサービス(奉仕)の精神の意味が含まれております。
 また、このマークは5つの円の全周又は部分で構成しており、「たくさんのお客さまといつまでもごえん(ご縁)がありますように。」という大切な願いも込められております。

会員の状況

23年9月末現在の会員は18,948先、出資金残高は470百万円となり、おかげさまで順調に推移しております。なお、会員の皆さまに対しては4%の出資配当(22年度実績)のほか、特典として出資配当金振込指定の普通預金口座について0.002%の金利上乘せ、電信振込や代金取立の手数料優遇を実施しております。

●会員の状況



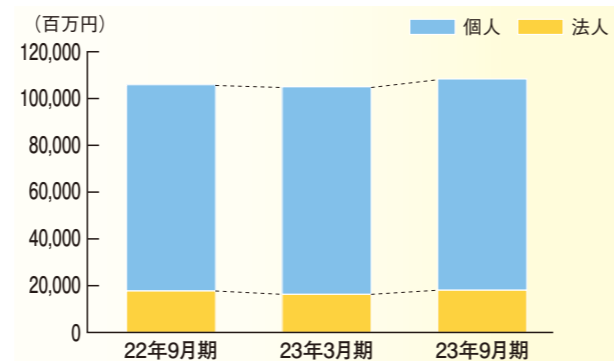
預金の状況

預金残高は上期で3,344百万円増加し108,203百万円となりました。これからも地域のお客さまへの金融サービスの提供や資産形成のお手伝いをさせていただきため、商品・サービスや各種機能をより一層、充実させてまいります。

●人格別預金残高

項目	23年3月期 (B)	23年9月期 (A)	増減 (A-B)
預金残高合計	104,859	108,203	3,344
うち個人	88,733	90,309	1,576
うち法人	16,125	17,893	1,768

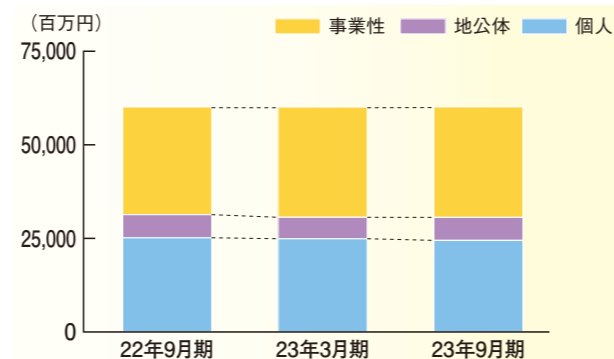
●預金残高



貸出金の状況

貸出金残高は上期で248百万円増加し60,218百万円となりました。これからも地域で資金を必要とされるお客さまに適切なご融資をさせていただき、事業や生活の繁栄のお手伝いに努めてまいります。

●貸出金残高



●業種別貸出金残高

業種区分	23年9月期		
	先数	残高	構成比
事業性	1,318	24,677	40.97%
うち製造業	153	3,397	5.64%
うち建設業	334	5,382	8.93%
うち卸売業・小売業	279	4,611	7.65%
うち不動産業	71	3,064	5.08%
うち各種サービス業等	481	8,221	13.65%
地方公共団体	7	6,005	9.97%
個人	5,091	29,536	49.04%
合計	6,416	60,218	100.00%

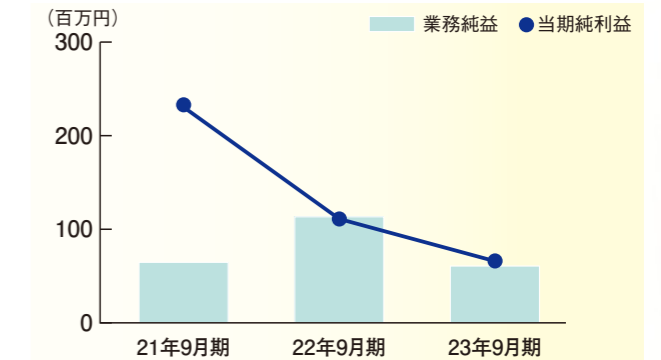
収益の状況

●業務純益…市況の悪化により有価証券処理費用が発生したことから、業務純益は前年同期比53百万円減少し60百万円となりました。

●不良債権処理関係損益…取引先の経営支援に積極的に取り組んでいることから、貸倒引当金が戻入となり、不良債権処理関係損益は112百万円の益計上となりました。

●当期純利益…有価証券の処理を進めた結果、当期純利益は前年同期比45百万円減少し66百万円となりました。

●損益の状況



(単位:百万円)

項目	22年9月期 (B)	23年9月期 (A)	増減 (A-B)
業務粗利益 (a)	842	783	△ 59
資金利益	863	854	△ 9
役員取引等利益	△ 10	△ 12	△ 2
その他業務利益	△ 10	△ 58	△ 48
うち国債等債券5勘定戻	△ 8	△ 58	△ 50
一般貸倒引当金繰入額 (b)	-	-	-
経費 (c)	728	723	△ 5
業務純益 (a - b - c)	113	60	△ 53
臨時損益	△ 68	25	93
経常利益	45	85	40
特別損益	124	0	△ 124
当期純利益	111	66	△ 45
不良債権処理関係損益 (損失を△表示)	98	112	14
有価証券関係損益 (損失を△表示)	△ 41	△ 135	△ 94

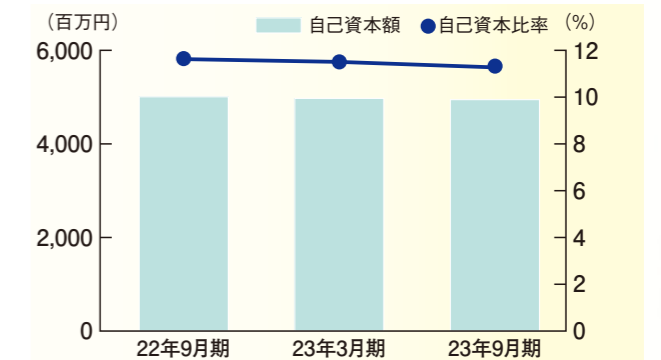
自己資本の状況

財務内容の健全性を示す代表的な指標である自己資本比率は、23年3月期比0.11ポイント低下し11.38%となりました。主な理由としましては、市況低迷による一時的な有価証券処理費用の発生で自己資本額が減少したことなどによるものです。

当金庫の自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る水準にあり、「安心してお取引いただける信用金庫」であると考えております。

なお、中核的自己資本 (Tier1) 比率は11.26%となり、23年3月期比0.11ポイント上昇しております。

●自己資本の状況



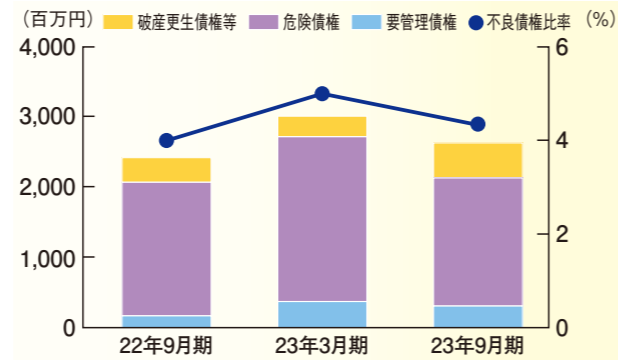
(単位:百万円)

項目	23年3月期 (B)	23年9月期 (A)	増減 (A-B)
自己資本額 (a) = (b + c - d)	4,973	4,946	△ 27
Tier 1 (b)	4,826	4,893	67
Tier 2 (c)	146	52	△ 94
控除項目 (d)	-	-	-
リスク・アセット等計 (e)	43,264	43,451	187
オン・バランス項目	39,884	40,099	215
オフ・バランス取引等項目	137	108	△ 29
オペレーショナルリスク・アセット	3,243	3,243	0
Tier 1 比率 (b / e)	11.15%	11.26%	0.11pt
自己資本比率 (a / e)	11.49%	11.38%	△ 0.11pt

不良債権の状況

金融再生法ベースの不良債権比率は4.35%となり、業界平均を下回る水準を維持しています。また、不良債権に対する保全率は81.29%となっており、不良債権残高の8割以上が貸倒引当金、もしくは担保・保証によって保全されています。今後とも、お取引先の経営改善支援や事業再生支援等を通して不良債権の発生防止に取り組んでまいります。

●不良債権の状況



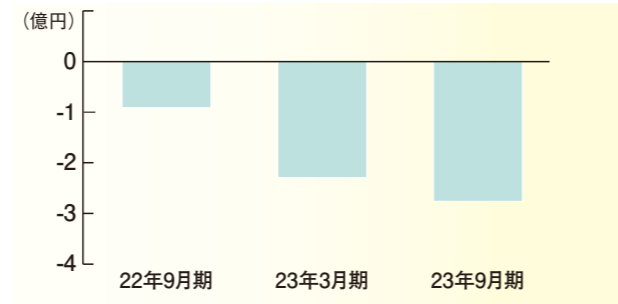
項目	23年3月期 (B)	23年9月期 (A)	増減 (A - B)
金融再生法上の不良債権 (a)	3,014	2,633	△ 381
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	293	499	206
危険債権	2,441	1,902	△ 539
要管理債権	279	231	△ 48
保全額 (b)	2,552	2,140	△ 412
貸倒引当金 (c)	346	358	12
担保・保証等 (d)	2,206	1,783	△ 423
保全率 (b / a)	84.68%	81.29%	△ 3.39pt
引当率 [c / (a - d)]	42.82%	42.12%	△ 0.70pt
正常債権 (e)	57,170	57,776	606
与信合計 (a + e)	60,185	60,410	225
不良債権比率 [a / (a + e)]	5.00%	4.35%	△ 0.65pt

有価証券の時価情報

預金の支払準備や余裕資金の運用として、預け金のほか有価証券等を保有しております。

有価証券のうち「その他有価証券」の評価差額は、株式や投資信託などの価格下落により△276百万円となりました。依然として市況が低迷していますが、安全性や流動性を重視した運用構成に努めるとともに、リスクが大きい有価証券の処理や含み損の圧縮に継続して取り組んでまいります。

●「その他有価証券」評価差額の状況



●有価証券の時価 (23年9月期)

【満期保有目的の債券で時価のあるもの】

区分	貸借対照表計上額	時価	差額	
			うち益	うち損
外国証券	2,600	2,295	△ 304	18

【時価のない有価証券の貸借対照表計上額】

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	9百万円

【その他有価証券で時価のあるもの】

区分	取得価格 (償却原価)	貸借対照表計上額	評価差額	
			うち益	うち損
株式	683	580	△ 102	111
債券	24,465	24,881	416	40
国債	4,977	5,166	188	0
地方債	2,599	2,659	59	0
社債	16,888	17,056	167	40
外国証券	1,136	1,089	△ 46	49
その他 (投信等)	2,657	2,113	△ 544	8
合計	28,942	28,665	△ 276	755

金融円滑化管理体制

当金庫にとって、地域の中小企業等への適切な資金供給並びに経営相談・経営支援等に真摯に取り組むことは、重要な社会的使命であります。当金庫はこれらの取り組みを徹底するため、「地域金融円滑化のための基本方針」を定めるとともに、本方針を適切に実践するために必要な体制を整備しております。

金融円滑化に向けた体制整備の状況

- ① 「金融円滑化管理方針」を含む管理規程を制定するとともに、金融円滑化管理責任者を選任し、適切な金融円滑化管理体制を整備しました。
- ② 各営業店に「金融円滑化相談窓口」を、本部には「苦情相談の専用窓口」を設けています。
- ③ 経営改善を支援する部署を設置し、与信先へのきめ細かな経営改善・事業再生支援の実施に取り組んでいます。
- ④ 与信先の事業価値を見極める能力(目利き力)の向上を図るため、継続的な研修等を実施しています。
- ⑤ 審査部門は、融資審査の質の向上と迅速化に取り組んでいます。

貸付の条件の変更等の実施状況について

平成21年12月4日に施行された「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」の第4条および第5条に基づく「貸付の条件の変更等」について、平成23年9月末現在の実施状況は以下のとおりです。なお、情報開示の詳細につきましては、店舗に備え付けていますので、お近くの営業店にお申し出ください。

(単位: 件・百万円)

貸付債権内訳	申込み		実行		謝絶		審査中		取下げ	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中小企業者向け	1,103	12,194	1,003	10,862	68	1,099	6	40	26	191
住宅資金向け	71	978	56	687	10	195	2	19	3	76

※上記計数は、件数は債権単位で集計しております。また、金額は申込み時点での債権額です。
 ※「申込み」とは、「お客さまからの貸付条件の変更等の申込みを書面または口頭で受け付けたもの」を指します。
 ※「謝絶」には、「申込みから3ヵ月を経過したもの」も含まれます。

東日本大震災への主な対応

◇専用相談窓口の設置

震災に係る様々なご相談に応じるため、「特別ご相談窓口」を全店舗に設置しております。開設時間は平日の午前9時から午後3時までです。

◇融資商品の取り扱い

栃木県や各市町の制度融資に加え、「だいしん災害復旧ローン」を取り扱い、金融面から事業支援や生活再建のお手伝いをさせていただいております。

◇預金商品の取り扱い

募集総額の0.25%を当金庫が義援金として被災地に寄付をする「だいしん震災復興支援定期積金」を取り扱っております (お客さまに寄付金のご負担はありません)。

◇避難されているお客さまへの対応

次の信用金庫とお取引があり被災県外に避難されているお客さまに、被災金庫に代わって預金の一部支払を行っております。

対象金庫…宮古、杜の都、石巻、気仙沼、あぶくま、ひまわりの6信用金庫

◇節電への取り組み

夏の電力需給不足への対応として、「節電行動計画」を策定しました。全役職員が積極的に取り組んだ結果、23年7月から9月は昨年比30%以上の節電を達成いたしました。

◇寄附の実施

下野新聞社や全国信用金庫協会を通して、金庫及び役職員で総額3,630千円を被災地に寄付いたしました。